

平成十一年十一月

西尾文庫目録

金沢市立玉川図書館

近世史料館



特
27
西
尾
文
庫
目
録

序

西尾文庫は、大聖寺において、六代にわたり、和算を研究し、広めてきた西尾家に蔵された算学書を中心とする文庫です。

これらの史料の存在は、算学研究者にとっては知られるところではありましたが、長い間門外不出として公開されることはありませんでした。

研究者にとって垂涎的であったこれらの史料が、このたび西尾家の御好意によって公開されるはこびとなり、大聖寺はもとより加賀藩、さらには北陸における関流算学の伝播状況ならびにその水準などが明らかにされていくのではないかと期待しております。

金沢市立玉川図書館近世史料館には藩政史料をはじめとして、建築・医学・俳諧など、各種分野を核とした文庫があり、このたび、御寄贈いただいた史料群は当館蔵書にはなかった分野のものであり、より一層の内容充実に資するものとなりました。貴重な史料を御寄贈いただいた西尾義弘様に対し、心からお礼を申し上げます。

平成十一年十一月

金沢市立玉川図書館

館長 志賀 紀雄

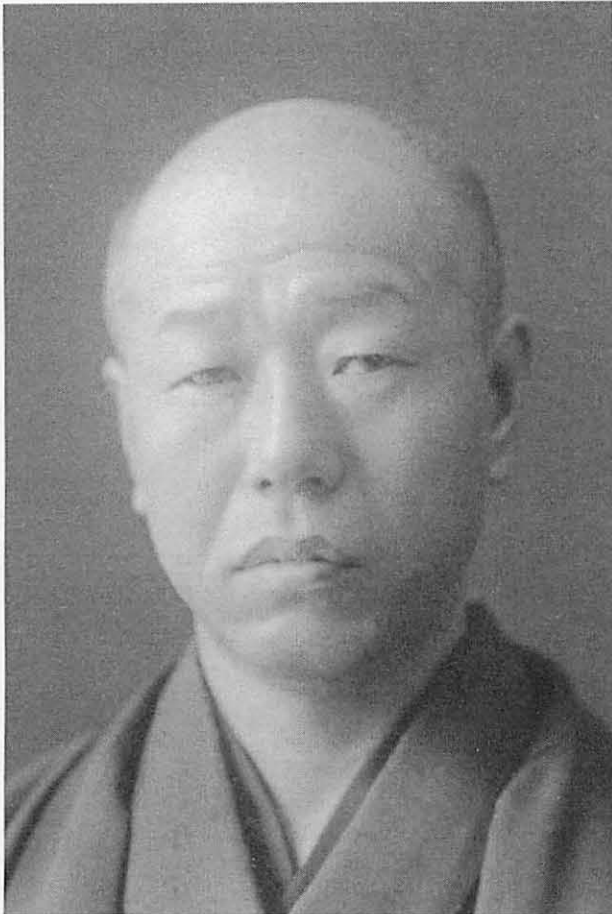


算学五代

西尾治右衛門(一之)写真

後に次郎作と改称。

「小学算法必要」・「籌算完璧」を著し、算学家西尾の名称を高めた。

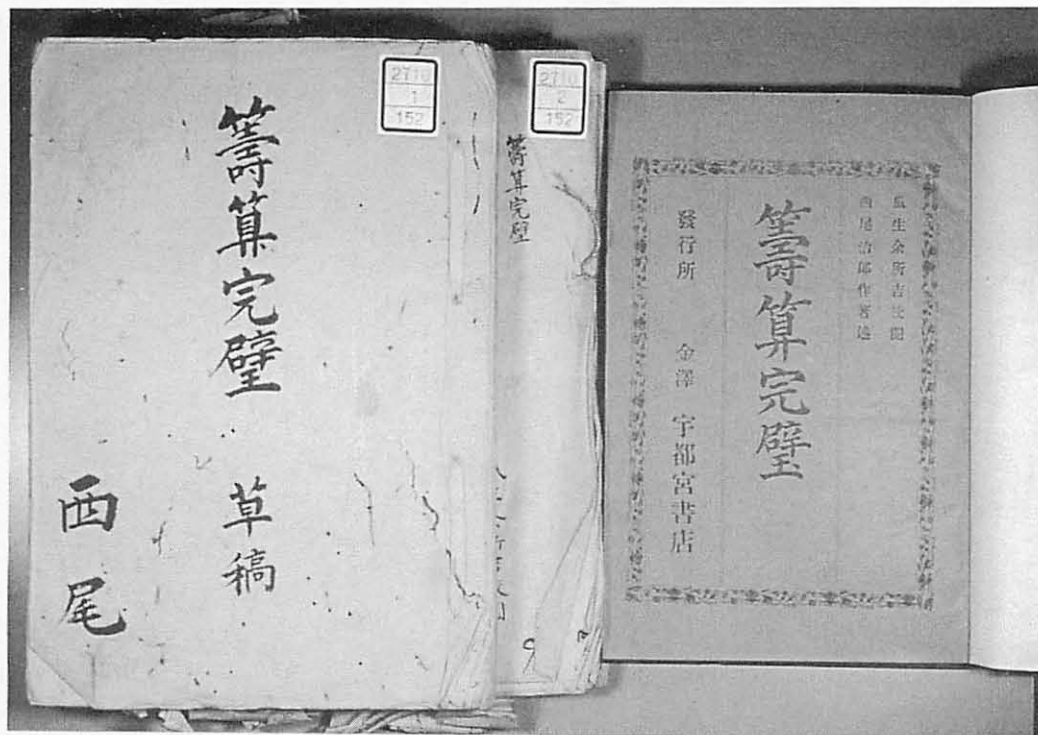


算学六代

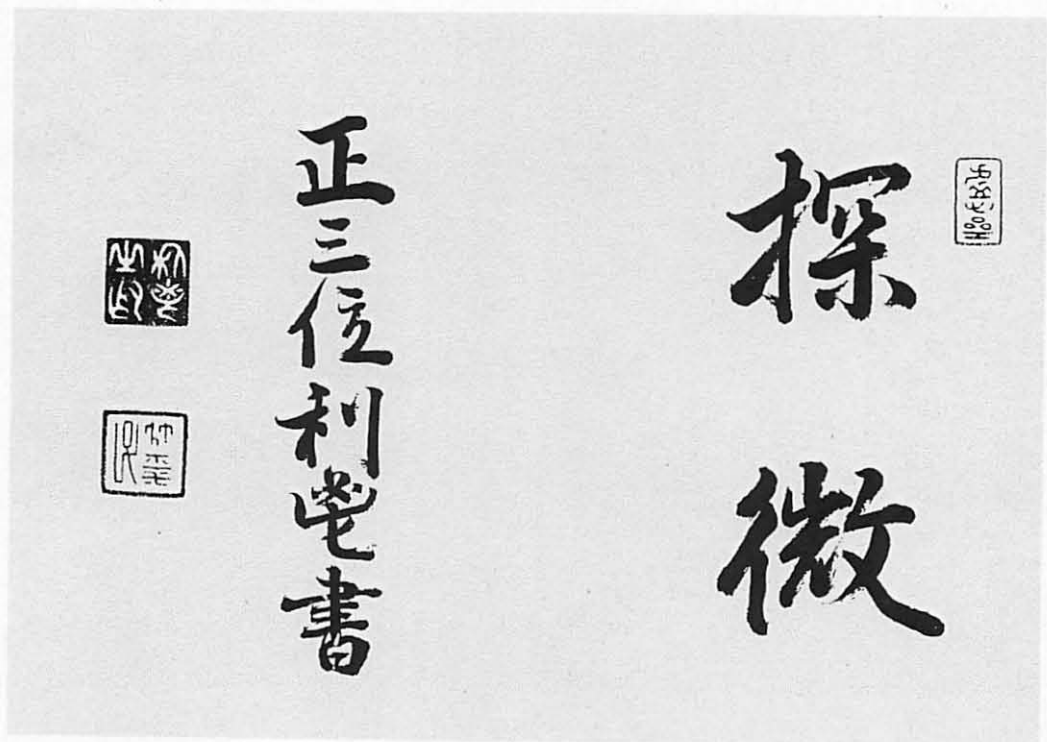
西尾他次郎(一貫)写真

他次郎51才、昭和11年4月28日に撮影したもの。

籌算完璧 草稿 二七・一〇—一五〇ならび
 刊行本 一五二



前田利豊書(籌算完璧扉書) 二七・四—一九



抄文之事

一 關流算法抄指南、趣乎法界

修行可任事

一 若流法傳來、書授不讓人不用

之若去所家、返細の任事

一 若流之書不可著也、中許容

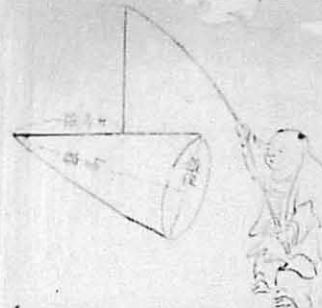
才之月他言他見は別浦事

右、流之望お守り、仍其外件

寛政十年六月 西尾治左衛門

伊藤傳右衛門

奉納



今有如圖圓錐
欲平行使釣之
錐徑諾錐高諾
問得中心矩術
幾何

答如左

術曰置錐徑以錐高二段除之
自乘之加一箇開平方以除錐
高三因四飯而得中心矩合問

丁卯三月

西尾治左衛門



凡 例

- 一、本目録は、大聖寺町の算学家であった西尾家文書を収めるものである。
- 一、史料の配列は編年体を基本とするが、分類二七・一〇の算学書についてのみ五十音配列とした。
- 一、本目録の記載事項は、分類番号、書名、著者・発行者、年代、形態、冊数、丁数の順とした。
- 一、表題は原則として原表題を生かすこととしたが、原表題のないもの、原表題のみでは不十分なものなどについては、補足・改変をし、仮題を付して表題とした（目録中に原表題と仮題の別は示さない）。
- 一、年代はアラビア数字をもって示し、年代は記されていないが推定できるものについては（ ）を付して示した。
- 一、史料の形態については、帳冊類には袋綴・長帳・横帳など、一紙類には一紙・切紙・続紙・折紙などを用いて示した。
- 一、数量については冊数・丁数を示した。冊数は単位を省略、丁数は丁を付し、複冊数の場合は冊数を記し丁数は省略した。
- 一、本目録の作製は金沢市立玉川図書館近世史料館があたった。

目次

(分類番号)	(項目)	(頁)
二七・〇	西尾家	1
二七・一	算	2
二七・一〇	算学書	2
二七・一一	測量・曆	15
二七・一二	算題・奉納題	18
二七・一三	門人・伝書	19
二七・二	社会・生活	20
二七・三	学問・教育	21
二七・四	文芸	23
二七・五	参考題	24
二七・五	解題	25

二七・〇 西尾家

書名	著者・発行者	年代	形態	冊数	丁数
一 西尾一起 名乗書	不詳	不詳	切紙(折封入)	一	
二 一良 名乗書	不詳	2月3日	切紙	一	
三 方岳舎々号印章覚	不詳	不詳	切紙	一	

二七・一 算学

二七・一〇 算学書

書名	著者・発行者	年代	形態	冊数	丁数
一 一元二次方程問題	不詳	不詳	罫紙綴	一	五丁
二 因法乗算	不詳	不詳	罫紙綴	一	六丁
三 運賃法等	不詳	不詳	罫紙綴	三	
四 盈朒(辛之二)	西尾	不詳	袋綴	一	五丁
五 盈朒・利足・差分	不詳	不詳	罫紙綴	三	
六 円規寸法	不詳	不詳	切紙	一	
七 円截	不詳	不詳	袋綴	一	四三丁
八 大石惣右衛門殿円截四問	大石惣右衛門	不詳	切続紙	二	
九 大石屋宗右衛門殿題	大石宗右衛門	不詳	切紙	二	

書名 著者・発行者 年代 形態 冊数 丁数

一〇 改算記綱目(一、三) 持永豊次・大橋宅清編、 貞享4年9月吉日 中本(木版) 三 一四丁

一一 角形画法 京都 北村四郎兵衛他刊 不詳 不詳 袋綴 一 一四丁

一二 開除問 不詳 不詳 袋綴 一 五丁

一三 開題記 渡辺忠勝 文政5年 袋綴 一 一九丁

一四 開平方 不詳 不詳 袋綴 二 一三丁

一五 開平方籌算之定法 不詳 不詳 切紙 一 一三丁

一六 開平方籌算之定法 方岳舎西尾 不詳 一紙 一 一三丁

一七 開平方之例 不詳 不詳 袋綴 一 一三丁

一八 開平方(甲・乙・三) 西尾 不詳 袋綴 三 一三丁

一九 開立 西尾 不詳 袋綴 一 九丁

二〇 開立方之例 不詳 不詳 袋綴 一 一六丁

二一 開立二十問 西尾 不詳 袋綴 一 七丁

二二 解惑辨誤(六編) 神谷定令著、京都 天王寺屋 寛政2年正月穀旦 中本(木版) 一 二五丁

市郎兵衛他刊

不詳

不詳

堀池久道、京都 天王寺屋市 天保9年早春 中本(木版) 二 六丁

郎兵衛他刊

関孝和編、武江 升屋五郎右 正徳2年正月上旬 中本(木版) 四

二七	河島攸左衛門ノ題	不詳	不詳	切統紙	一	三丁
二八	竿興廢	不詳	不詳	袋綴	一	
二九	切形	不詳	不詳	切紙	一一	
三〇	具心算法(一、五)	三宅賢隆、江戸平野屋長右	元禄12年孟春吉辰	中本(木版)	五	
三一	掌中鉤股規矩要領	衛門他刊				
三二	求内容五円解等	藤田嘉言編、平安天王寺屋	寛政元年2月	折本(木版)	一	
三三	倉屋喜兵衛問之解術	市郎兵衛刊	不詳	袋綴	一	一三丁
三四	見一	西尾治右衛門	戊4月18日	切統紙	一	
三五	懸算(三)	西尾	不詳	袋綴	一	六丁
三六	絳老餘算	不詳	不詳	袋綴	一	一二丁
三七	得甲円至術等雜題	不詳	不詳	袋綴(錯簡)	一	七丁
三八	古題二問解自作	西尾一之	文久3年	袋綴	一	八丁
三九	蔡註尚書	不詳	不詳	袋綴	一	八丁
四〇	材割木挽(下)	西尾	不詳	袋綴	一	六丁
四一	雜題	不詳	不詳	野紙綴	三	
四二	雜題	不詳	不詳	袋綴	一	八丁
四三	雜題	不詳	不詳	こより綴	一五	
四四	雜題	会主南岳	丁巳仲夏	袋綴	一	一二丁
四五	雜題	不詳	不詳	袋綴	一	六丁
四六	雜題	不詳	不詳	袋綴	一	一九丁
四七	雜題	不詳	不詳	横帳	一	七丁

書名	著者・発行者	年代	形態	冊数	丁数
四八 雜題(良)	不詳	不詳	横帳	一	八丁
四九 (武学) 雜題(仁)	不詳	不詳	袋綴	一	三丁
五〇 雜題(元)	不詳	不詳	袋綴	一	三丁
五一 雜題(乾・坤)	不詳	不詳	横帳	二	
五二 雜題(甲・乙)	不詳	不詳	袋綴	二	
五三 (己未孟春算会草稿) 雜題	西尾	(安政6年)	袋綴	二	
五四 雜題集	不詳	文久3年9月)	袋綴	一	三五丁
五五 雜題 天元術	不詳	不詳	袋綴	一	五丁
五六 雜題等	不詳	不詳	一紙・切紙	一六三	
五七 雜題二十問	不詳	不詳	袋綴	一	五丁
五八 雜伝等	不詳	不詳	袋綴	一	二二丁
五九 雜問	不詳	不詳	袋綴	一	九丁
六〇 雜割	不詳	不詳	袋綴	一	三丁
六一 雜題	不詳	不詳	切続紙	三	
六二 雜題	不詳	不詳	一紙(錯簡)	七	
六三 雜題	不詳	不詳	一紙(錯簡)	一八	
六四 雜題	不詳	不詳	一紙(錯簡)	六	
六五 雜題	不詳	不詳	一紙(錯簡)	八	
六六 雜題	不詳	不詳	一紙(錯簡)	二三	
六七 雜題・奇偶	不詳	不詳	一紙	一	
六八 雜題(樽代ヲ得術)	不詳	不詳	切続紙	一	

六九 雜題 (年貢等ヲ得術) 不詳 不詳 切続紙 一

七〇 真田直兵衛様より大和屋 不詳 不詳 切続紙 三

宗右衛門殿へ御問ノ術

七一 差分 (乙之二) 西尾 不詳 袋綴 一 一三丁

七二 算学稽古本 不詳 不詳 袋綴 三三三

①見一 ②雜割 ③雜題 ④盈朒辛之一 ⑤開平乙・三 ⑥商除乙之一・戊

⑦差分乙之二 ⑧開立 ⑨田積甲 ⑩稅務已 ⑪章術甲之一・二 ⑫開平法甲

⑬首卷癸之二 ⑭諸率癸之一 ⑮懸算 三 ⑯材割木挽丁 ⑰利息壬 ⑱統術

⑲分母分子 ⑳天元雜題 ㉑法程辛之二 ㉒竿法雜題 ㉓侘流雜題 ㉔籌算之法

㉕当流算梯元 ㉖開除問 ㉗頼母子之法 ㉘古流頼母子之法 ㉙八算 ㉚瘡落法・海嶋法

七三 算学雜題集 会主 西尾一起 丁巳仲夏 (安政4年)

己未孟春18日 (安政6年)

己未孟春26日 (安政6年)

戊仲秋 (文久2年) 袋綴 四

七四 算学等級附并稽古本之次第 不詳 不詳 横帳 一

七五 算学問題 不詳 不詳 切紙 二

七六 算題術 不詳 不詳 袋綴 一 一〇丁

七七 算題術解 不詳 不詳 袋綴 一 九丁

七八 算題新編 (上・下・附録) 村田則重・石田古周撰、 明治6・7年 袋綴 三

金沢 近田太平他刊

七九 算術小松問答 南岳社中 西尾一起 西11月 袋綴 一 一三丁

八〇 算術問答応返状等 不詳 不詳 切紙・一紙等 一八七

書名	著者・発行者	年代	形態	冊数	丁数
① 高橋九右衛門・西尾一起算問往返状等	伊藤慎甫↓西尾一起	文政11年9月	切続紙・切紙等	六	
② 伊藤慎甫題術	伊藤慎甫	申6月	切続紙・切紙	五	
③ 吉田屋次右衛門答術等	吉田屋治右衛門	亥4月	切続紙・切紙	六	
④ 吉田屋治右衛門算題返書	吉田屋治右衛門↓若山彦左衛門	正月24日	切続紙	一	
⑤ 大武九郎右衛門算題応返状	大武九郎右衛門↓西尾	閏正月12・13日	切続紙・切紙	三	
⑥ 水田丸村清右衛門問書等	水田丸村清右衛門	不詳	切紙・一紙	四	
⑦ 若山栄吉、吉田屋次右衛門 題術往返書状等	若山栄吉、吉田屋次右衛門	不詳	切紙・こより綴	七	
⑧ かちや重助へ遺す題術等	↓かちや重助	不詳	切紙・切続紙	一八	
⑨ 米屋忠太郎題術	米屋忠太郎	不詳	切紙	五	
⑩ 寺井屋九郎左衛門宛術付	↓寺井屋九郎左衛門	不詳	一紙・切紙	二	
⑪ 願成寺寄銭元利計算	西尾一起↓願成寺	亥7月	切続紙	一	
⑫ 三十人講頼母子懸銀并取銀 之次第他	不詳	不詳	切続紙・切紙	一〇	
⑬ 算法演段術	野坂勇左衛門	文化元年中秋中旬	切続紙	一	
⑭ 板之事	深谷久治郎	丑4月上旬	切続紙	一	
⑮ 法除実級数	西尾	亥10月	切続紙	一	
⑯ 歳旦	不詳	不詳	切紙・切続紙	二	
⑰ 演段手引等	不詳	不詳	切続紙	四	

八四	算隨	尾張 山本格安、 京都 蒼屋勘 延享3年11月日	不詳	中本(木版)	一	三四丁
八三	三乘方問題	兵衛刊	不詳	袋綴	一	七丁
八二	三乘方之例	西尾	不詳	袋綴	一	四丁
八一	三乘方	西尾	不詳	袋綴	一	五丁
②⑥	算題解義	不詳	不詳	切紙	二	
②④	算題、答術一括	不詳	不詳	切紙・切統紙	五〇	
②③	円径算題并術解	不詳	不詳	切統紙・切紙等	五	
②②	勺配術	不詳	不詳	切統紙	一	
②①	題術五題	不詳	不詳	切統紙	二	
②①	松月答術等	不詳	不詳	切統紙・切紙等	一七	
①⑨	円径算題等	西尾	不詳	一紙・切紙	一八	
①⑧	術解綴	不詳	不詳	こより綴	一	三八丁
八五	算題 答術	不詳	不詳	切統紙	一	
八六	算題 草稿	西尾	不詳	袋綴(野紙)	一	二三丁
八七	(久氏)算梯(三)一百題術	不詳	不詳	袋綴	一	五丁
八八	算法(子、丑之術、寅の術、卯術)	不詳	不詳	袋綴	四	
八九	算法記	不詳	不詳	袋綴	二	
九〇	算法記	不詳	不詳	袋綴	一	五六丁
九一	算法記(甲・乙・丙・丁・戊・己・ 庚・子・丑・寅・卯)	大惣	不詳	袋綴	二	
九二	算法記術書	不詳	不詳	袋綴	一	二九丁

書名	著者・発行者	年代	形態	冊数	丁数
九三 算法稽古本(上・下)	不詳	孟冬	袋綴	二	
(上卷) 見一 雜割 雜題 盈胸 開平二 求積 商除乙 商除戊 差分 開立 田積					
稅務 草術一 草術二 草術三 開平法					
(下卷) 首卷 諸率 掛算 材割 利足 統術 開平三 分母分子 天元雜題 法程					
竿法雜題 他流雜題 籌算之法 当流算梯 開除問 賴母子之法					
九四 算法闕疑抄(一、五)	磯村吉徳、京都中村五兵衛刊	貞享元年孟冬吉日	中本(木版)	五	
九五 算法商除問	不詳	不詳	袋綴	一	
九六 算法雜術(一括)	不詳	文政8年9月他	切紙	八	八八
九七 算法指掌大成(一、八)	石山正盈編、水戸本屋五郎兵衛刊	享保8年5月日	中本(木版)	八	
九八 算法点竄指南録(一、一五)	坂部広胖、名古屋永楽屋東四郎他刊	文化7年	中本(木版)	一五	
九九 算法点竄指南録二編(上・中・下)	坂部広胖、尾張永楽屋東四郎他刊	文化7年序	中本(木版)	三	
一〇〇 (稽古本之内) 算法術書	西尾与一郎	安政5年9月	袋綴	二二	二二丁
一〇一 算法新書	長谷川寛閑、千葉胤秀編、東京吉田屋文三郎他刊	文化13年秋(序)	中本(木版)	一	三三五丁
一〇二 (闕流) 算法點竄法 卷二	不詳(野坂先生ヨリ写)	不詳	袋綴	一	二五丁
諸約術					
一〇三 算法天元術(一・三)	不詳	不詳	袋綴	二	
一〇四 算法天生法指南(一、五)	最上流元祖 会田安明編、	文化7年11月	中本(木版)	五	

一〇五	算法礎	東京 須原屋市兵衛他刊 加州大野 喜多川孟敦、 婦矩堂刊	文久2年晚秋(序)	横本(銅板)	一	五九丁
一〇六	首卷用例	西尾	不詳	罌紙綴	一	一二丁
一〇七	首卷用例等	不詳	不詳	袋綴罌紙	一六	
一〇八	四斜積等雜題	不詳	不詳	一紙(錯簡)	四	
一〇九	勺爰玄適等	不詳	不詳	横帳	一	五丁
一一〇	四乘法之例	不詳	不詳	こより綴	一	五丁
一一一	諸率書上	不詳	不詳	切続紙	一	
一一二	自問自答	西尾治右衛門	文久2年	横帳	一	七丁
一一三	拾璣算法(一、五)	豊田文景、江都 須原茂兵衛 他刊	明和6年5月日	中本(木版)	五	
一一四	術集(甲・乙・丙)	不詳	不詳	袋綴	三	
一一五	(稽古本) 術集(全)	西尾与市郎	安政5年下秋下ノ 5日	袋綴	一	四五丁
一一六	術集(一括)(元)	不詳	不詳	横帳	二	
一一七	首卷(癸之二)	西尾	不詳	袋綴	一	七丁
一一八	順天堂算譜(一)	小林蠖齋編、浪華 順天堂刊	弘化4年	中本(木版)	一	一九丁
一一九	剩一ノ数	不詳	不詳	袋綴	一	三丁
一二〇	小学算法必用緒言	西尾治郎作	明治	罌紙綴	一	二丁
一二一	小学算法必用草稿并序	田辺輅序	明治11年7月	罌紙綴	三	
一二二	松月	不詳	不詳	袋綴	一	六丁
一二三	(術書) 松月	不詳	不詳	横帳	一	二丁

書名	著者・発行者	年代	形態	冊数	丁数
一二四 商除(乙之一・戊)	西尾	不詳	袋綴	二	
一二五 乘除問題(上)	西尾	不詳	袋綴	一	七丁
一二六 乘除問題之内術書	不詳	不詳	横帳	一	四丁
一二七 商用雜問	不詳	不詳	野紙綴	一	三丁
一二八 諸角作り様ノ図	不詳	不詳	切紙	一	
一二九 諸率(癸之一)	西尾	不詳	袋綴	一	五丁
一三〇 (新編) 塵劫記	吉田光由、平安天王寺屋市 郎兵衛刊	寛永18年霜月吉日	中本(木版)	一	一六五丁
一三一 (万家通用近道) 塵劫記	大坂 秋田屋太右衛門刊	天保5年再板	中本(木版)	一	三二丁
一三二 塵劫記	不詳		中本(木版)	一	二三丁
一三三 神壁算法(上・下)	藤田嘉信編、京都 水玉堂刊	寛政元年3月	中本(木版)	二	
一三四 神壁算法起源 上卷(元・亨)	不詳		袋綴	二	
一三五 (改正増補新撰) 数学(乾・坤)	金沢 関口開、金沢 村田則重 刊	明治19年9月24日 再々刻	横本(銅板)	二	
一三六 数術問集	不詳	不詳	野紙綴	一	五丁
一三七 数術問集	不詳	文化元年中秋他	袋綴・横帳	八	
一三八 精要算法(上・中・下)	藤田定資、京都 天王寺屋市 郎兵衛刊	天明元年5月日	中本(木版)	三	
一三九 翦菅術解	西尾	不詳	横帳	一	六丁
一四〇 草術(甲之一・二・参)	西尾	不詳	袋綴	三	
一四一 大極・陰陽等意	不詳	不詳	袋綴	一	四丁

一四二	題術自徳之	西尾与市郎	安政6年3月~8月	横帳	一	二五丁
一四三	大宗円截術相尋書	不詳	不詳	切紙	三	
一四四	大・小円径問書	西尾一之	丁卯3月	切紙	一	
一四五	大・小数覚	不詳	不詳	袋綴	一	二丁
一四六	田中屋十左衛門殿利附年賦	不詳	不詳	切紙	四	
	割題					
一四七	頼母子	不詳	不詳	袋綴	一	五丁
一四八	頼母子之法	不詳	不詳	袋綴	一	一五丁
一四九	籌算開平方之定法	西尾次郎作	明治22年8月他	野紙綴	三	
一五〇	籌算完壁	西尾治郎作、金沢宇都宮書店刊	明治35年5月23日	冊子(印刷)	一	一三四頁
一五一	籌算完壁後書、目次等草稿	西尾他	明治26・28・34年	一紙・袋綴	一四	
一五二	籌算完壁草稿	西尾治郎作	不詳	袋綴	二	
一五三	籌算完壁草稿	大聖寺町荒町三番地西尾治郎作	明治	こより綴	三	二二丁
一五四	籌算指南	千野乾弘撰、撰城河内屋茂八他刊	不詳	中本(木版)	一	五二丁
一五五	籌算之板	西尾	不詳	切紙	七〇	
一五六	籌算之板	西尾	不詳	切紙	五一	
一五七	籌算之板	西尾一起	不詳	切紙	三三	
一五八	籌算之板	不詳	不詳	切紙	二〇	
一五九	籌算之法	西尾	不詳	袋綴	一	一八丁
一六〇	籌算盤付説	不詳	不詳	切紙	二	

書名 著者・発行者 年代 形態 冊数 丁数

一六一 籌算盤用法 不詳 不詳 袋綴 一 一二丁

一六二 籌算盤用例 不詳 不詳 袋綴 一 六丁

一六三 籌算便法指南草稿(上・中・下) 不詳 不詳 袋綴 三 六丁

一六四 釣股弦一百題 西尾 不詳 袋綴 一 九丁

一六五 直線三角往来等 河野通義 不詳 袋綴 一 四三丁

一六六 天元・竿法・佻流雜題 西尾 不詳 袋綴 三 三

一六七 伝書 不詳 不詳 袋綴 一 二二

(天之卷 三〇冊) 互換 六章(前・后) 稅務 加減乘除去 利足(前・后) 差分(一、七) 盈胸

求積還源(一、三) 定位(一、二) 鐘除去 求積(一、三) 數量 首卷 卷類

運賃 材割 箔升木挽

(地之卷 二七冊) 開平 方程(前・後) 截術(前・后) 開除法 当流算梯 統術(前・后)

參較連乘 凶象志 鈎股方圖適等 盈胸(前・后) 立方 歲且歲暮 奇偶算

倍倍塚術 鈎股(前・后) 求積隨毛 互換隨毛 交会 之分 平塚解術 容術 接術

(人文卷 四二冊) 広益算梯(一、三) 演段品彙(一、一〇) 諸角二距斜解 術分合演段 角起術

剪管 零約 解見題 自約術 演段參率 環錐術 鈎股弦整数 鈎股變化法

角術解 老題數品術 諸法根源 求式正誤術 鈎股玄再乘和点鼠 算梯(一、一〇、他三冊)

(その他 二冊) 天地人附録 解見題之法諺解 括要算法諺解(利卷) 当流算梯(虛) 雜題(一) 算梯解 大成算經 方陣

鈎股六和 開平式變化術 雄山梭中三圖解 算題術顧問答 京都祇園額答術

懸宕山三條 根源記円理 鈎股積分三條 円中三斜術 奇偶

五呎谷七面社額算題辨惑(東) 具心算法答術(南) 算法演段(西) 算法演段(北)

一六八	田積(甲)	西尾	不詳	袋綴	一	七丁
一六九	統術	西尾	不詳	袋綴	一	八丁
一七〇	総務(巳)	不詳	不詳	袋綴	一	七丁
一七一	(省略) 八線真数表大測解(下)	羅雅谷等撰	不詳	大本	一	五〇丁
一七二	発微算法演段諺解	関孝和、京都天王寺屋市郎 兵衛刊	貞享2年11月吉日	中本(木版)	四	
	(元・享・利・貞)					
一七三	筆算	藤克孝	享和3年	袋綴	一	八丁
一七四	比例算前紙	不詳	不詳	罫紙綴	一	五二丁
一七五	福田屋買込屋敷之図	不詳	不詳	切紙	一	
一七六	分母分子	西尾	不詳	袋綴	一	九丁
一七七	平町	不詳	不詳	一卷	一	
一七八	平法式十露盤術落又秘術等	西尾与市郎	安政6年霜月5日	横帳	一	五丁
一七九	法程(辛之二)	西尾	不詳	袋綴	一	五丁
一八〇	方位算定	不詳	不詳	切紙	一	
一八一	得方面式	西尾治右衛門一貫	文久2年4月30日	一紙	一	
一八二	得方面術等雜題	不詳	不詳	袋綴(錯簡)	九	九丁
一八三	未詳算法	瀧川有父著、竹村則直校	文政9・12・13年 刊の写等	袋綴	六	
	卷三					
	卷五	瀧川有父著	文政9年2月著			
		北村儀直・宇野定根校	文政12年11月校			
	卷八	瀧川有父著	文政9年4月著			
		萩原定根・寺尾克灼・ 野村正忠校	文政13年5月校			

書名	著者・発行者	年代	形態	冊数	丁数
卷一〇	高柳政岩・竹村則直・ 中西重行・吉倉祐之著 近藤道兌校	文政10年5月著集			
卷一一	宇野定根・米山善行閱 瀧川有父・北村儀直・宇野定 根編	文政10年12月校 文政11年正月閱 文政12年5月編成			
卷一四	速水次左衛門光督写 瀧川有父編、萩原定根校 柴田清行、京都西村七郎兵 衛刊	慶応2年3月写 天保2年10月編 元禄2年3月吉辰	中本(木版)	二	
一八四 明元算法(乾・坤)					
一八五 約術解	西尾	文久元年9月	横帳	一	一五丁
一八六 (改正増補) 洋算階梯(二)	広田亥一郎編、大聖寺能登 安平刊	明治9年9月	横本(銅板)	一一	〇九丁
一八七 要妙算法(一、七)	堀池久道編、京都天王寺屋 市郎兵衛刊	天保2年11月	中本(木版)	七	
一八八 萬置立	西尾	不詳	長帳	一	一二丁
一八九 山口半平殿 円截題術	不詳	不詳	一紙	二	
一九〇 山口半平殿題 予答術	不詳	不詳	切紙	一一	
一九一 山口半平様術無尽講ノ割	不詳	不詳	切紙	一	
一九二 大和屋宗右衛門殿方題円截	不詳	不詳	一紙	一	
一九三 利息(壬)	西尾	不詳	袋綴	一	八丁

一九四 利足算之覚
一九五 利附年賦問

不詳
不詳

不詳
不詳

不詳
不詳
不詳
不詳

不詳
不詳

不詳
不詳

二七・一一 測量・曆

書名

著者・発行者

年代

形態

冊数

丁数

一 図解量地指南 前編(上・中・下)村井昌弘、京都野田太兵衛

享保18年6月望日

中本(木版)

三

二 渾発測量術(初・次編)

写

不詳

袋綴

二

二丁

三 渾発測量術(初・次編)

不詳

不詳

袋綴

二

一七丁

四 規矩元法

不詳

不詳

袋綴

一

二四丁

五 曆吉凶日之事 本朝天文卷

不詳

不詳

袋綴

一

二四丁

第九

六 二十八宿

不詳

不詳

袋綴

一

二丁

七 天文捷徑平天儀図解ノ内

不詳

不詳

横帳

一

八丁

八 町見術器物用法

不詳

不詳

袋綴

一

四丁

九 測量六卷書々秘

不詳

不詳

横帳

一

五丁

一〇 改正日月食法

不詳

不詳

袋綴

一

二六丁

一一 日月食等二付覚書

不詳

不詳

切続紙

一

二六丁

一二 海島法 全

不詳

不詳

袋綴

一

二二丁

一三 海島法

写

不詳

袋綴

一

二〇丁

一四 求算積術解等

不詳

不詳

一紙

一五

書名	著者・発行者	年代	形態	冊数	丁数
一五 星座図	不詳	不詳	袋綴(彩色)	一	四二丁
一六 皇和通曆之末	不詳	天明・寛政	袋綴	一	二丁
一七 曆法捷徑術 全 草稿	西尾一良	文政9年8月	袋綴	一	一九丁
一八 曆法捷徑術 全	西尾一良	文政9年仲秋	袋綴	一	一六丁
一九 御製曆象考成 下編(一、四)	不詳	不詳	袋綴	三	
二〇 御製曆象考成下編等題箋	不詳	不詳	切紙	四	
二一 曆法書秘	不詳	不詳	横帳	一	六丁
二二 丁卯・戊辰 年曆推步控	不詳	不詳	袋綴	一	五五丁
二三 曆書等覚書	不詳	不詳	切紙	二	
二四 曆法(曆推歩)	不詳	嘉永7年	袋綴	一	三三丁
二五 曆書	不詳	不詳	袋綴(錯簡)	六	
二六 曆推歩法用数 全	方岳舎・西尾	不詳	袋綴	一	二七丁
二七 政新曆秘訣之卷 完	不詳	不詳	折本仕立	一	
二八 曆大小及二十四節知術書	不詳	不詳	横帳	一	三丁
二九 須弥界約法曆規(上・下)	不詳	不詳	袋綴	二	
三〇 曆法聞書記	西尾一起	不詳	袋綴	一	二〇丁
三一 新正曆法立成集	不詳	不詳	中本(写)	一	四八丁
三二 新正曆法立成	不詳	不詳	袋綴	一	五三丁
三三 天明六丙午歲曆見行艸	西尾	天明5年	袋綴	一	一九丁
三四 寛政十二庚申歲曆見行艸	西尾	寛政11年	袋綴	二	
三五 文政七甲申歲曆見行艸	西尾一良	文政6年	長帳	一	一二丁

三六	文政十年丁亥曆見行草	西尾一良	文政9年	長帳	一	九丁
三七	文政十年京曆	大經師降屋内匠	文政9年	続紙(木版)	一	
三八	文政十年月頭	金沢野町 小松屋与右衛門他 弘所	文政9年	一紙(木版)	一	
三九	慶応二年伊勢曆	伊勢 佐藤伊織	慶応元年	折本(木版)	一	
四〇	慶応三年伊勢曆	伊勢 山口右兵衛	慶応2年	折本(木版)	一	
四一	慶応三年京曆	大經師降屋内匠	慶応2年	小本(木版)	一	二四丁
四二	慶応三年月頭	大經師降屋内匠	慶応2年	一紙(木版)	一	
四三	慶応四年伊勢曆	伊勢 佐藤伊織、金沢上堤町 松浦善助他版元	慶応3年	折本(木版)	一	
四四	慶応四年略曆	算士 西尾一之	(慶応3年)	一紙	二	
四五	慶応四年略曆	算士 大聖寺荒町 吉田屋治右衛門	慶応3年3月	一紙	二	
四六	慶応四年曆推歩空	不詳	慶応4年	袋綴	一	八丁
四七	慶応五年曆推歩空	不詳	不詳	袋綴	一	八丁
四八	辛未曆推歩空	不詳	明治4年	横帳	一	八丁
四九	年曆	不詳	明治4、7、10年	袋綴	五	
五〇	明治四年月見合七	松原孟敬製	(明治3年)	一紙(木版)	一	
五一	萬年曆	不詳	不詳	袋綴	一	四丁
五二	改正刪補 日夜重宝 万曆両面鑑写	不詳	不詳	切続紙	一	
五三	明治三年略曆	(吉田屋治右衛門)	(明治2年)	一紙	一	
五四	明治三庚午年曆推歩空	不詳	(明治3年)	袋綴	一	八丁

二七・一一 測量・曆、二七・一二 算題・奉納題、二七・一三 門人・伝書

五五 明治十一年太陽略曆

頒曆商社 林立守

(明治10年)

一紙

一

五六 明治十一年太陽・太陰略曆

加賀国弘通所 近藤一步
金沢 山田信政編

明治11年1月官許

一紙(木版)

一

二七・一二 算題・奉納題

書名

著者・発行者

年代

形態

冊数

丁数

一 神明宮奉納算題解術草稿

西尾一良

文政8年9月15日

袋綴

一

七丁

二 奉納算額覚

西尾次右衛門一良

文政8年9月

切紙

二

三 奉納算題

西尾次右衛門一良

元治元年9月

切紙

一

四 奉納算額控

西尾治右衛門一之・西尾為次郎一守・
速水栄次郎光督・寺尾治左衛門知之

文政9年8月

切紙

一

五 西尾治平一守奉納算額控

西尾一守

元治2年3月

一紙

一

六 西尾治右衛門一之奉納算額控

西尾一之

慶応3年3月

一紙

一

七 駒井あたご山算題

不詳

不詳

切紙

二

八 奉納題并解義

不詳

林詳 寛政10年

袋綴

一

二四丁

九 奉獻算題一十二章

関流 伊藤克孝門人

不詳

袋綴

一

七丁

西尾次郎右衛門一起・大武九郎右衛門矩定・鏑木彦右衛門政則・
泉茂助信重・浅井宇平直實・邨口安左衛門重光・早川惣三郎義方・
沢枝次右衛門直・蒲生又兵衛秀信・畑八郎右衛門吉陳・

一〇 江戸市ヶ谷社御粥門人掲ル
額面
御粥門人
小倉喜三郎勝勺・鹿野喜右衛門栄光・越前州大野庄若山栄吉有隣
一紙
二

一一 西近江国今津天満宮所掲一筆
西江州今津宿
山根良造・西川武平撰
不詳
一紙
一

二七・一三 門人・伝書

書名
著者・発行者
年代
形態
冊数
丁数

- 一 関流算法入門誓紙
西尾治良右衛門
寛政10年5月
一紙
一
- 二 算奥術品々相伝三付起請文
加川多三次他
文化7、文政9年
切続紙
一
- 三 関流算法入門二付誓文
渡辺宗右衛門
文政5年閏正月
一紙
一
- 四 関流算法入門二付誓文
不詳
文政5年閏正月
一紙
一
- 五 関流算法入門二付誓文
二木伝兵衛
文政5年8月
一紙
一
- 六 関流算法入門二付誓文
古橋直吉
文政6年9月
一紙
一
- 七 関流算法入門二付誓文
吉村屋久兵衛
文政8年10月
一紙
一
- 八 関流算法入門二付誓文
佐々木治左衛門
文政8年10月
一紙
一
- 九 関流算法入門二付誓文
大和屋宗右衛門
文政9年9月
一紙(折封入)
一
- 一〇 関流算法入門二付誓文
小池忠太郎
文政9年9月
一紙(折封入)
一
- 一一 見題之卷免許状
岡部茂太郎一貞
慶応元年9月吉日
折紙
一
- 一二 稽古人等級之次第
不詳
申2月16日改
切続紙
一
- 一三 門人控
不詳
不詳
一紙
六

書名	著者・発行者	年代	形態	冊数	丁数
一四 算学者名簿	不詳	不詳	一紙	五	
一五 野坂氏江入門覚書	不詳	不詳	横帳(折封入)	一	
一六 量位秘歌	西尾一起	不詳	折紙(折封入)	一	
一七 野坂勇左衛門書状	野坂勇左衛門	6月28日	切続紙	一	
一八 吉田屋治郎右衛門書状	吉田屋治郎右衛門	閏6月2日・7月10日	切続紙	二	
一九 松浦善助等書状	上堤丁 松浦善助他	8月25日	切続紙	一	
二〇 二木義実他書簡	二木義実他	不詳	切続紙	八	
二一 金津表江差遣之案文	不詳	不詳	切続紙	一	
二二 稽古人出数留	西尾	明治5年正月	袋綴	一	一〇丁

二七・二 社会・生活

書名	著者・発行者	年代	形態	冊数	丁数
一 宝曆金沢打ちこわしの記	不詳	不詳	切続紙	一	
二 吉田屋三郎兵衛養子願書	吉田屋三郎兵衛	明和元年11月11日	一紙	一	
三 撰津大阪近辺早引方角附 大地震ニ附大津波次第	不詳	嘉永7年11月5日	一枚(木版)	一	
四 撰州大津波の次第(瓦版)	不詳	嘉永7年11月5日	一枚(木版)	一	
五 辰二月七日焼失之覚(大聖寺)	不詳	辰2月7日	切続紙	一	

六	加州より京伊勢迄之道中附 不詳	不詳	一枚(木版)	一	
七	三十人講頼母子懸銀并取銀之次第 不詳	不詳	切続紙	一	
八	貨幣換算早見盤 不詳	不詳	一枚	一	
九	各国貨幣等比較表 不詳	不詳	野紙綴	一	二丁
一〇	英国貨幣表 不詳	不詳	野紙綴	二	
一一	宝船 不詳	不詳	一枚(彩色)	一	
一二	大阪朝日新聞 大阪朝日新聞社	明治37年12月16日	新聞	一	

二七・三 学問・教育

書名	著者・発行者	年代	形態	冊数	丁数
一 商売往来	堀流水軒筆、奥書 近松門左衛門、大坂 大野木市兵衛刊	元禄8年5月	中本(木版)	一	二二丁
二 庭訓往来	京都 菊屋喜兵衛他刊	正徳2年菊月吉日	中本(木版)	一	六八丁
三 童子問(上)	伊藤仁斎	宝永4年(序)	中本(木版)	一	四二丁
四 孝経	孔安国伝、太宰純序、小林新兵衛刊	宝暦11年5月再刻	中本(木版)	一	三五丁
五 和漢音釈書言字考節用集 (一、六)	駒谷散人編、大坂 本屋又兵衛他刊	明和3年孟春再版	中本(木版)	六	
六 小学句読(一、四)	陳選、京都 勝村治右衛門他刊	寛政元年校正	中本(木版)	四	

書名	著者・発行者	年代	形態	冊数	丁数
七 心学五常弁	浪華 禿箒子著、大坂 秋田屋 市兵衛他刊	寛政6年10月吉日	中本(木版)	一	四八丁
八 麻疹探囊方	片山猷輔著、皇都 林権兵衛 他刊	寛政11年孟春	中本(木版)	一	三四丁
九 和漢薬秘伝	田原如岸書	文政11年9月下旬	袋綴	一	七五丁
一〇 改正訓点 論語(上・下)	朱熹 集註序説	安政改正	小本(木版)	一	五三丁
一一 四書正文 孟子(上・下)	(朱熹)	不詳	中本(木版)	五	
一二 論語(上・下)、学庸					
一三 大学章句			中本(木版)	一	三七丁
一四 実語教			袋綴	一	六丁
一五 実語教斛			袋綴	一	一〇丁
一六 文尽菊之白露(一、二)			横帳	二	
一七 手習本			袋綴	二	
一八 商売往来	京都 須原屋平左衛門刊	不詳	中本(木版)	一	七丁
一九 かなめくさ	京 八文字屋仙治郎他板	不詳	中本(木版)	一	五六丁
二〇 仮名字遣		不詳	横帳	一	一一丁
二一 御文集(文明六・八年)		不詳	中本(木版)	二	
二二 (訓蒙) 窮理図解	福澤諭吉著	明治4年6月再刻	小本(木版)	一	六二丁

二七・四 文芸

書名	著者・発行者	年代	形態	冊数	丁数
一 苜萱道心行状記	摂州 含蓮社門誉誌	寛延2年春	中本(木版)	一	一〇一丁
二 奥州仙台敵討之事	不詳	宝暦10年2月写	袋綴	一	二六丁
三 駝鳥之図	不詳	寛政2年5月	一紙(木版)	一	
四 続 撰吟和歌集 類題	大坂 葛城長兵衛他刊	(寛政2年)5月	小本(木版)	一	一三〇丁
五 新刻 俳諧線衣	東都 西村源六版	寛政4年9月	折本(木版)	一	
六 凶書中央伝	朱明	享和2年4月	中本(木版)	一	
七 幼学詩韻	江戸 須原屋伊八等刊	天保5年初春再刻	中本(木版)	一	四八丁
八 詩工錐鑿(上・下)	元軌伯則輯、大阪 河内屋茂兵衛他刊	天保13年5月3刻	小本(木版)	二	
九 三村(尊)句	不詳	不詳	切紙	一	
一〇 蘆鶴俳名書	攸同斉	不詳	切紙	二	
一一 一休狂歌雀 はやりうた	不詳	不詳	袋綴		
一二 能演目戯文	江戸 一角仙人	春気3年望月	一紙	一	
一三 太平記忠臣講釈	大坂 加嶋屋清助板	不詳	中本(木版)	一	三三丁
一四 石山軍艦 後篇 卷六、八	不詳	不詳	中本(木版)	一	五四丁
一五 菅原伝授手習鑑	大坂 加嶋屋清助板	不詳	中本(木版)	一	五六丁
一六 越前まんざい 道具つくし	不詳	不詳	袋綴(木版)	一	六丁
一七 謡本	下河辺拾水画	不詳	豆本(木版)	一	五二丁

- 一八 玉そろい 不詳
- 一九 前田利隆書 (籌算完璧扉書) 前田利隆

不詳
不詳

中本(木版) 一 一〇〇丁
一枚 一

参考品

品名

形態

数量

- | | | | |
|---|---------------|------------|------|
| 一 | 算籌 | 木製長さ三六mm | 一箱 |
| 二 | 算木版 | 木製五八×六〇〇mm | 一〇丁 |
| 三 | そろばん (五ツ玉・二連) | 一一〇×四九〇mm | 一丁 |
| 四 | 籌算盤版木 (西尾次郎作) | 木製一五七×七五mm | 六枚 |
| 五 | 日時計 (孟敦編) | 鉄製長さ一三七mm | 一枚 |
| 六 | 渾発 | 木製二三〇×八〇mm | 一本 |
| 七 | 桶定規 (西尾所持) | | 一枚 |
| 八 | 籌算盤 (西尾治郎作) | | 一一七枚 |

示 193
黒 186

解題

〔西尾家と西尾家文書について〕

西尾家は初代源太郎より代々大聖寺町に住した町人で、大聖寺下新町において生絹問屋を営み、屋号を吉田屋といたった（「加賀市史」通史編）。算学の系譜では西尾家三代の三郎左衛門一起を初代とする（「西尾家系譜」参照）。一起は大聖寺藩士で関流の伊藤克孝の弟子として皆伝を得たと云われる（「算家略系譜」参照）。伊藤克孝は関流算学を初めて大聖寺に伝えた人物でもある。このうち西尾家では代々の子孫を含め、六代に渡り明治にいたる間、大聖寺において算学の家として、研究と伝授に努めた。

西尾家文書は件数で三百四十七件、実点数では千点（器具類の参考品を除く）を超え、北陸においては富山県新湊市の「高樹文庫」に次ぐ規模の文書群である。

内容を目録に即して見ていくと、西尾家に関するものとしては、算家としての個人の号名に関するものが多少あるのみで、算家西尾家・生絹問屋西尾家としての家内

に係る史料類は皆無といえる。

本文書群の中心となるものが算学関係史料であり、この分野が西尾家文書の史料性を高め、特色となっているものである。

算学書としたものの中で、数量的に多数を占めているのが算題・題術類で、これに関する書簡の往返も見られる。これらに次ぐのが算術書類で、吉田光由の「塵却記」寛永十八年（一六四一）を始めとして、日本数学の中祖といわれる関孝和の「発微算法演段」貞享二年（一六八五）、特永豊次・大橋宅清の「改算記綱目」貞享四年（一六八七）等々から金沢の瀧川有父の著作、さらに明治十九年関口開の「改正増補新撰数学」に至る書籍が揃っている。

算学書と一括にしてもよいところであるが、ここでは測量関係と暦関係資料を合わせて別項目を立てた。

これらの中では、軍学者でもある村井昌弘の「量地指南」をはじめ、「渾発測量術」「規矩元法」「海島法」などの書があり、西尾氏が書写・研究したものであろう。

暦関係では、西尾一良の著および書写になる「曆法徑術」「曆見行」、西尾一起の「曆法聞書記」の他天明期から明治にかけての暦などがある。

算題・奉納題の項は、西尾氏の算学の内容を知ることができる資料ともなるものである。文政八年（一八一五）

の西尾一良の奉納題解術、以下一良・一之の奉納算題や各地の奉納算題の写からなる。

同じく門人・伝書では西尾氏の算学系統や西尾氏の門人などを知るための好資料となるものが多い。門人については、西尾一起の誓文および、西尾門人に関する史料を後に掲載した。

社会・生活、学問・教育の項は西尾氏及び算学に直接関わらないものであるが、三十人講の懸銀や、各国の貨幣換算の資料は算学者としての収集範囲に含まれるものである。

以下に西尾家六代にわたる算家系譜としての「西尾家系譜」、ならびに西尾家の算学系統を位置付けるため、北陸における代表的算家の系統を示す「算家略系譜」を付した。

西尾家の算学家としての活動については、文化期（三代一良の代）から明治初年（五代一之の代）に至る門弟関係の史料四点を付して、その活動の一端を知る参考とした。

西尾家系譜

西尾家初代

源太郎

長兵衛

寛保元年四月二十二日没
(八十七才)

元文五年四月五日没
(五十六才)

算学初代

三郎兵衛一起

二代

治郎右衛門一起

明和八年二月没(六十二才)

享和二年隠居一守と称す。
文化十一年正月没(七十四才)

三代

治右衛門一良

四代

治郎右衛門一良

天保八年六月没(六十一才)

後に一知と称す。
文化十三年九月二日生
明治二年隠居

明治十三年六月没(六十五才)

五代

治右衛門一之

後に次郎作と改める。弘化元年五月二十三日生 明治十年七月「小学算法必要」、同二十五年五月「籌算完璧」を著す。明治四十五年六月没(六十八才)

六代

他次郎一貫

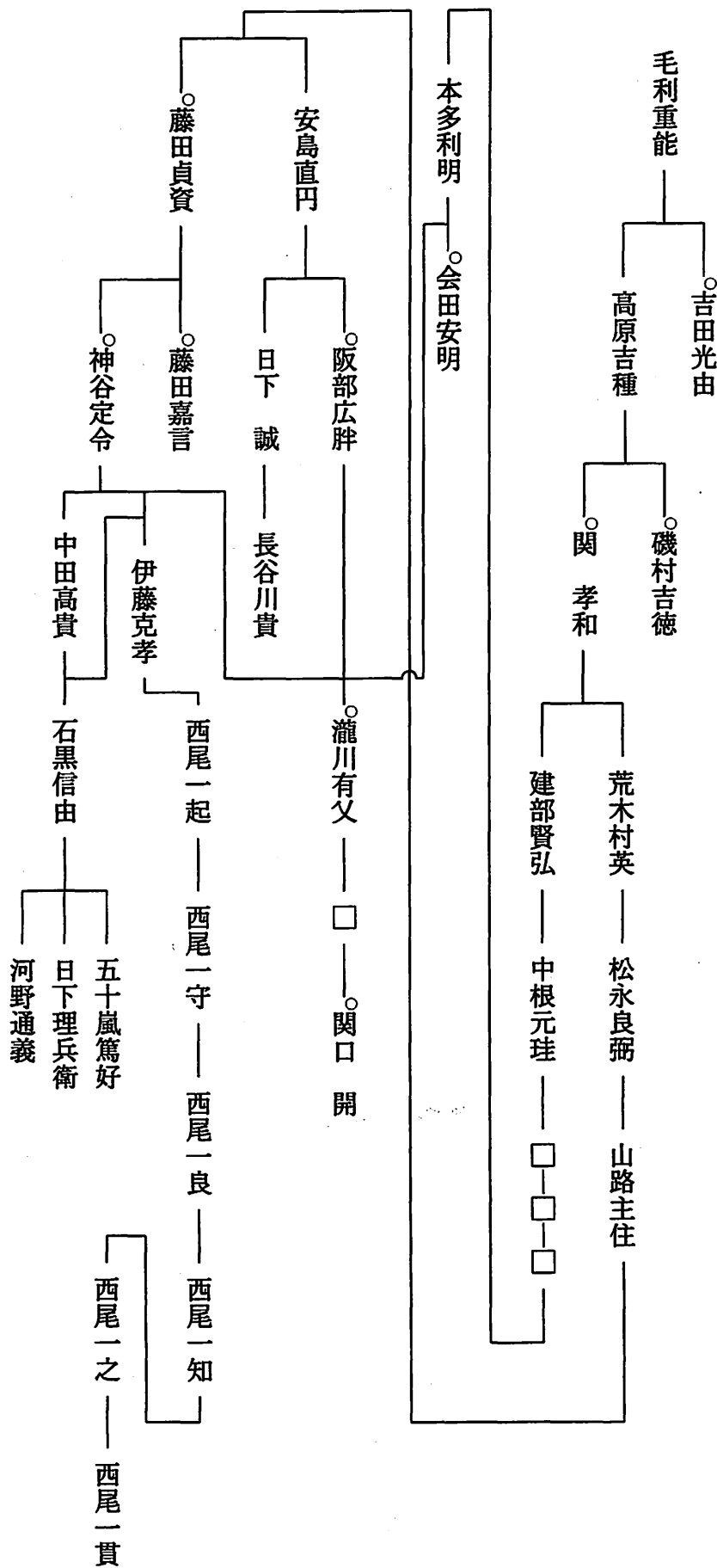
当代

義弘

明治十九年九月二日生
昭和三十二年二月十六日没

〔西尾家系譜〕「郷土数学」などによる

〔算家略系譜〕



「郷土数学」田中鉄吉、「算学鉤致」早苗藤作、「関流算法七部書」東京数学物理学会、「北陸道の和算家に就て」林鶴一を参考として作成した。
 ○印は「西尾家文書」中の資料著者である。

(史料1) 二七・一三一

誓文之事

一、関流算法御指南之趣、無疎略修業可仕事

一、当流御伝授之書、猥不讓人不用之節者、師家江返納

可仕事

一、当流之書不可著、惣而御許容無之内、他言他見仕間

敷事右之條々堅相守可申候、依而如件

寛政十年五月 西尾治良右衛門(花押)

伊藤伝右衛門様

(史料2) 二七・一三一

(端裏書)

「野坂氏起請文之写」

起請文之事

一、算奥術品々

右者相伝之術一々慎而奉承候、此上者雖親子・兄弟不致、

起請文者不可伝授、若此旨趣於相背者、天神・地祇惣而

日本國中六十余州大小神祇之御罰各々罷蒙者也、起請文

依如件

文化七庚午年十一月七日

加川多三次惟徳

右同日

河野又三郎吉次

文化八年辛未三月朔日

下村三之丞委房

右同日

斎藤吉大夫嘉雄

右同日

文化九申三月五日

竹沢甚蔵俊政

同六月廿一日

高木茂兵衛古道

文化十一甲戌正月

藤田庄大夫義房

同

江守助太郎是賢

同三月十三日

和田円蔵和均

同

林磯右衛門由信

同九月九日

浅井弁右衛門敏雅

同十月十一日

木村藤蔵美

文化十四丁丑三月三日

斎藤村次長史

同十一月十九日

大島源七巴章

文化十五戊寅二月十五日

吉田又平昌敷

同

小森忠右衛門充紵

文政二己卯四月

山形弟助懐徳

同

高島勝五郎悖信

同九月朔日

牧野長五郎方正

同

服部謙次郎方喬

起請文以本紙有之略焉

林善右衛門方敏

文化十四丁丑五月十二日

佐野弥三郎迪

同

秋田又兵衛勝敷

同八月二十日

法円寺乘空

文政五年壬午十一月四日

窪村祐八史敏

同

加藤文右衛門喜在

同十一月十七日

文政八乙酉五月廿五日

同

同

文政八六月十六日

同

文政九年丙戌八月廿七日

西尾次右衛門一良(花押)

(史料3)二七・二三―二二

申二月十六日改

稽古人等級之次第

二等之三

三等之一

同断

同断

同 二草術三

同断 商除二

同 三稅務

同断 草術二

同断 求積

同断 同

同断 同

山本金次郎広寛

豊岡和助一長

吉川左五七音氏

吉田松右衛門勝一

石川鉄藏尚方

大久保茂助方行

大和屋岩太郎

木屋卯之助

油屋清作

中野屋球太郎

升屋和吉

庄屋直吉

別所屋鉄次郎

升屋岩吉

大杉屋弥吉

河崎屋鉄次郎

木綿屋治太郎

同断 同

同断 開平

等外 草術一

同断 同

同断 同

同断 同

同断 盈胸

同断 同

同断 雜題

同断 雜割

同断 同

同断 同

同断 同

同断 同

同断 同

同断 同

同断 見一

同断 同

同断 同

同断 同

同断 同

同断 同

同断 同

大和屋貞次郎

板屋四郎

金沢屋鹿吉

中屋利吉

大杉屋卯吉

越後屋治郎吉

鶴屋龜吉

大杉屋伊之助

潮津屋喜太郎

吉野屋辰吉

魚屋駒吉

柳屋寅吉

魚屋熊吉

大桑氏

竹内屋作太郎

矢田屋岩吉

金津屋甚四郎

麦屋与之助

見齋屋直吉

矢田屋治郎作

尾山屋駒吉

見齋屋乙吉

石川屋喜太郎

同断 八算 龜屋与三吉
同断 同 中島屋定吉

以上 西尾

(史料4)二七・一三一—二二

明治五年「稽古人出数留」人名

木屋卯之助・油屋清作・升屋和吉・庄屋直吉・
別所屋鉄次郎・大杉屋弥吉・金沢屋鹿吉・麦屋与之助・
見齋屋直吉・同 乙吉・大和屋貞次郎・板屋四郎・
升屋岩吉・潮津屋喜太郎・柳屋寅吉・越後屋治郎吉・
魚屋駒吉・大杉屋卯吉・鶴屋亀吉・吉野屋辰吉・
魚屋熊吉・龜屋与三吉・矢田屋治郎吉・尾山屋駒吉・
中島屋定吉・矢田屋岩吉・大桑重太郎・中野屋球太郎・
大和屋岩太郎・木綿屋治太郎・大杉屋伊之助・
河崎屋鉄次郎・竹内屋作太郎・中屋利吉・金津屋甚四郎・
石川屋喜太郎・橋立村辰吉・天日村清次郎・明珍周太郎・
塗師屋久太郎

盆後

木屋右之吉・二口屋和吉・天日村清次郎・北方屋熊吉・
別所屋熊次郎・升屋岩吉・大和屋貞次郎・畑屋栄吉・
加茂屋元吉・魚屋熊吉・見齋屋直吉・同 乙吉・
木綿屋治太郎・柳屋寅吉・大杉屋亥之助・河崎屋鉄次郎・

升屋和吉・尾山屋岩吉・石川屋喜太郎・庄屋直吉・
倉屋内常吉・黒瀬村伝助・敷地村金蔵・黒瀬村小左衛門・
天日清次郎

和算の伝播と流派

和算の諸流派は関孝和によってほぼ統一されたといわれるが、地方においては諸派が勢力を残していた。

加賀では、三池流・清水流などの流派が関流と共に共存していた。

三池流は、大坂の三池市兵衛(正徳・享保期)が開いた一派で、金沢に根つき、藩士山本彦四郎―西永広林―村松英允―宮井安泰と継承され、瀧川有父へと引き継がれ、加賀藩における算学の一派をなした。

瀧川有父は、宮井安泰に学び、規矩流あるいは瀧川流という一派をなし、その碑文には門弟六百余と記され、その住いにちなんで犀川算聖と呼ばれた。藩においては算用場に勤仕し、著作に「倍塚術」「算法要法五ヶ條」「未詳算法」などがあり、本文庫中にも「未詳算法」が収められている。

清水派は江戸において清水元販豊吉が開いた一派で、加賀においては、大聖寺藩の算用方を勤めた井上治兵衛方照によってもたらされたといわれる。

関流については、関孝和の弟子建部賢弘の系列に連な

る大橋精七郎充敷より、京都において藩士和田耕蔵（御算用者のち明倫堂算学師範）がこれを学び（寛政四年皆伝）金沢にもたらしたものと、同じく関孝和の弟子荒木村英の系列に連なる藤田貞資、神谷定令に学んだ富山の中田高寛が越中にもたらし、石黒信由等に継承されていたものがあつた。

富山の中田高寛同様、江戸の神谷定令に学び、また中田高寛について関流を学んだ者に大聖寺藩の伊藤克孝がいる。この伊藤克孝が、大聖寺藩に関流算法も持ち込み、当文庫の西尾一起等の算学者を生んだ。

伊藤克孝は通称を伝右衛門といい、父忠兵衛は大聖寺藩御先手組足軽小頭を勤め、克孝は同姓伊藤家よりの養子で、父と同じく御先手組足軽を勤め、のち会所小算用となり、寛政十二年江戸において関流算術皆伝を得ている。

以上を概観すると、三池流が大坂より金沢に伝わり、次いで清水流が江戸から大聖寺に伝えられ、寛政期に入り関流が中田高寛によって富山に伝えられ、また別ルートで伊藤克孝によって大聖寺に導入されたことになる。

以下に西尾家ならびに同社中を含め、大聖寺の算学者によって奉納された算額の所在と、西尾家奉納算学の一部を載せた。

（大聖寺関係算額一覽）

寛政4年1月	大聖寺 菅生石部神社	中田高寛門人 伊藤克孝
寛政9年4月	加州那谷寺 観音堂	伊藤克孝門人 大聖寺吉崎屋栄元
寛政10年6月	山代葉王寺 葉師堂	伊藤克孝門人 西尾一起、 鹿野米元
寛政10年7月	加州慈光院神明宮 (山下神社)	伊藤克孝門人 西尾一起
寛政11年夏	山中 葉師堂	伊藤克孝門人 西尾一起、 他13名
文政8年9月	石川県大聖寺 山下神社	西尾一起嫡子西尾一良
天保15年8月	大聖寺 菅生石部神社	米屋五郎兵衛常徳
元治2年3月	(不明)	西尾一知社中、西尾一之、 西尾一守、速水光督、 西尾知之
明治3年3月	大聖寺 山下神社	西尾一知嫡子西尾一之

「算学鉤致」加越能算額年代記による

×印は昭和34年調査時現存していなかったもの。

○印は存在が確認されたもの。

無印は未調査であるものを表わす。

今有如圖側內隔斜容等円二個、長徑二十五寸、短徑一十六寸、斜二十四寸、問等円徑幾何、乃等円不離側円長周、

答曰、依左術、得等円徑、

術曰、列長徑、自之、內減斜、累余、名、置料、累以短徑、累除之、內減一個餘地、置料、累以長徑、除之、以減長徑、余、名、置天、乘地、加人、累得數、平方開之、商、內減人、余、以地、除之、得等円徑、合問、

今有如圖長平內容五円、元円徑二十七寸、貞円徑三寸、問利円徑幾何、

答曰、利円徑四寸五分、

術曰、列元円徑、乘貞円徑、名、乾、置元円徑、內減貞円徑、余、半之、名、坤、置貞円徑、再自乘之、乘元円徑、得數、平方開之、商、以、減、乾、余、坤、除之、得利円徑、合問、

西尾治右衛門一良

文政八乙酉年九月

大聖寺山下神社奉納算額

今有如圖外円內以不等白円五個、圍上下左右四円、左右下各円徑若干、問得上円徑及外円徑術如何、

答如左、

術曰、置左円徑、乘右円徑、以除下円徑、名、乾、左右円徑相併、名、坤、加下円徑、乘乾、平方開之、商、七十六之內、減乾、因坤、五十二、段、及六十二、箇、以、除下円徑、九之、得外円徑、合問、

今有如圖球穿去等円二個、外余積若干、問得球徑術如何、

答曰、如左、

術曰、置外余積、九、因二、開立方、商、得球徑、合問、

西尾治右衛門一之

明治三庚午年三月

大聖寺山下神社奉納算額

西尾社中奉納算額

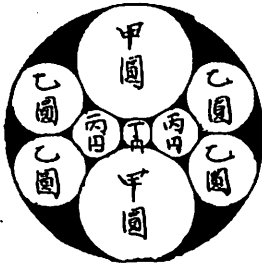
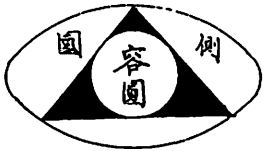
奉納



今有如図側円内容圭及円只言長
徑若干徑各若干問得最多容円徑術

答日如左

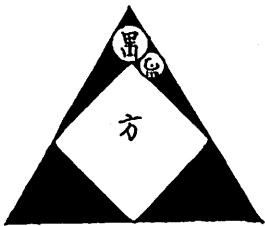
術日置長徑乘短徑以長短徑和除
之得最多容円徑



今有如図円内容円九箇外円徑
若干問得各円徑術

答日依左術得各円徑

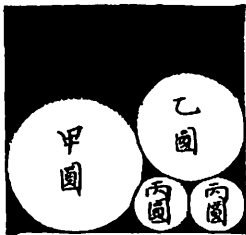
術日置四分五厘乘五箇八箇一十二箇二十箇以除外
円徑得甲乙丙丁円徑



今有如図三角内容方面与甲乙
円三角面若干問乙円徑

答如左

術日置一箇五分内減方斜率乘三
角面以中股率除之得乙図徑



今有如図方面内容円四箇乃
甲円徑若干問丙円徑
答如左
術日置五十七箇内減方斜率四十
段乘甲円徑得丙円徑

関流西尾一知嫡子

第一術 西尾治右衛門一之

同次男

第二術 西尾為次郎一守

同門人

第三術 速水栄次郎光督

同門人

第四術 寺尾治左衛門知之



元治二乙丑年三月

あとがき

西尾文庫は算学書の史料群として、きわめて特色のある文庫です。算学書を中心とした史料群では富山県新湊の石黒家文書が目録されており、北陸における代表的な算学者として石黒信由の名は周知のものとなっています。

北陸においては越中の石黒氏のほか、金沢や能登そして西尾氏の大聖寺と、多くの人材が存在しましたが、それらの名はあまり知られていないところです。

昭和三十五年「算学鉤致」を著した早苗藤作が富山県を中心として算学書の調査を行いました。西尾家文書は調査できず、今度当館で公開されるのが世に出る最初となります。

今回、西尾家文書を目録化することにより、西尾氏の交友や弟子の名から大聖寺を中心とした加賀の算学者、中でも和算の底辺を支えたともいえる町方の人々の存在が明らかになるものと思われれます。

本目録の刊行にあたって、西尾義弘氏より御寄贈を受けてから刊行までに長期の間を要し、御寄贈者の御期待に添えず、利用の面でも御不便をかけたことをお詫び申し上げます。

平成十一年十一月

西尾文庫目録

発行日 平成十一年十一月一日

編集・発行

金沢市立玉川図書館

近世史料館

〒九二〇〇八六三

金沢市玉川町二番二十号
電話 〇七六(二二二)一九六〇

印刷所

田中昭文堂印刷株式会社
〒九二〇〇八一

金沢市小坂町中七五
電話 〇七六(二五二)七七八八

平成十九年

西尾文庫追加目錄

二七・一 算学

二七・一〇 算学書

書名	著者・発行者	年代	形態	冊数	丁数
一九六 算法指掌大成 二〇五	石山彦衛門正盈編	(享保8年)	中本(木版)	四	
一九七 神壁算法 上・下	藤田嘉言編	寛政元年3月	中本(木版)	二	
一九八 解惑弁誤	神谷幸吉定令著、京 天王寺 屋市郎兵衛(水玉堂) 他刊	寛政8年6月増刻	中本(木版)	一	一七丁
一九九 未詳算法 卷一・五・七・十・ 十三・十五	瀧川有义編	文政7年他	袋綴	六	
二〇〇 首卷用例以下目錄	未詳	未詳	野紙綴	一	二丁
二〇一 首卷	西尾	未詳	野紙綴	一	四丁
二〇二 首卷用例	西尾	未詳	野紙綴	一	五丁
二〇三 帰因法	西尾	未詳	野紙綴	一	九丁
二〇四 撞除除乘法	西尾	未詳	野紙綴	一	五丁
二〇五 除乘法前級の后級	西尾	未詳	野紙綴	二	
二〇六 乗除問題	西尾	未詳	野紙綴	一	一三丁
二〇七 雑問 一	西尾	未詳	野紙綴	六	
二〇八 簡易雑問 壹・貳・参	西尾	未詳	野紙綴	三	
二〇九 利足問 前	西尾	未詳	野紙綴	一	八丁
二一〇 利足算前級	西尾	未詳	野紙綴	一	八丁

二二一	差分問	西尾	未詳	野紙綴	一	一一丁
二二二	差分	西尾	未詳	野紙綴	一	一一丁
二二三	盈口問	西尾	未詳	野紙綴	一	一〇丁
二二四	盈口	西尾	未詳	野紙綴	一	一三丁
二二五	開平	西尾	未詳	野紙綴	一	七丁
二二六	開平方・比例雜問	西尾	未詳	野紙綴	一	一五丁
二二七	求積	西尾	未詳	野紙綴	一	八丁
二二八	釣題	未詳	未詳	袋綴	一	一八丁
二二九	釣題解義	未詳	未詳	袋綴	一	一九丁
二三〇	雜題集	未詳	未詳	横帳	一	二七丁
三三一	単価・数量価覚	未詳	未詳	野紙綴	一	一丁
三三二	加算	西尾	未詳	野紙綴	一	六丁
三三三	分母分子	西尾	未詳	野紙綴	一	七丁
三三四	諸等問題	西尾	未詳	野紙綴	一	六丁
三三五	加算	西尾	未詳	野紙綴	一	六丁
三三六	比例前級・后級	未詳	未詳	野紙綴	二	
三三七	積算メモ	未詳	未詳	切紙	一	
三三八	統術	西尾	未詳	野紙綴	一	四丁
三三九	法程	西尾	未詳	野紙綴	一	四丁
一三〇〇	三乘開方	西尾	未詳	野紙綴	一	三丁
一三〇一	開除問	西尾	未詳	野紙綴	一	四丁
一三〇二	算方術及解(断簡)	西尾	未詳	横帳	一	一〇丁
一三〇三	環容逐球解義	未詳	未詳	袋綴	一	五丁

書名	著者・発行者	年代	形態	冊数	丁数
二三四 元利計算類題	未詳	未詳	折紙	一	
二三五 円理解	未詳	未詳	袋綴	一	八丁
二三六 転題衍義	未詳	未詳	袋綴	一	六丁
二三七 称平術解	未詳	未詳	袋綴	一	一六丁
二三八 得方斜三角中勾秘術	西尾	未詳	横帳	一	一三丁
二三九 弧術衍義	内田観編	未詳	袋綴	一	二二丁
二四〇 直内側円解	未詳	未詳	袋綴	一	八丁
二四一 連幣算法解	未詳	未詳	袋綴	一	五〇丁
二四二 算法礎解	未詳	未詳	袋綴	一	四〇丁
二四三 諸率 前	西尾	未詳	野紙綴	一	三丁
二四四 比例算前級	西尾	未詳	野紙綴	一	一五丁
二四五 算術例題	未詳	未詳	切統紙	一	
二四六 頼母子之割	未詳	未詳	横帳	一	一五丁
二四七 籌算盤板木	未詳	未詳	木版		
二四八 籌算完璧跋文原稿	北條時敬	明治34年11月	原稿用紙	一	
二四九 算題覚	未詳	未詳	野紙綴	一	一五丁

二七・一二 算題・奉納題

一二 奉納算額稿

関流伊藤克孝門人
鹿野喜右衛門栄元
西尾治郎右衛門一起

寛政10年6月

一枚

一

一三 奉納算額稿

関流伊藤克孝門人
西尾次郎右衛門一起

寛政10年7月

一枚

一

一四 奉納算額稿

関流西尾一起嫡子
西尾次右衛門一良

文政8年9月

一枚

一

一五 奉納算額稿

関流西尾一知嫡子
西尾治右衛門一之

明治3年3月

一枚

一

一六 奉納算額稿

関流西尾一知嫡子
西尾治右衛門一之

明治3年3月

一枚

一

二七・一三 門人・伝書

二三 算学稽古人之控

未詳

明治32年4月11日
より

折紙

一

二四 稽古人出頭表

未詳

明治36年

野紙

一

二五 上半季稽古人出頭表

未詳

明治37年

野紙

一

二七・二 社会・生活

二三 薬品手引草(乾・坤)

加地井高茂編

安永7年

中本(木版)

二

一四 九谷赤合の事等覚

未詳

未詳

野紙綴

一

一五 町方覚書

未詳

寛政、文政

横帳

一

一六 町規約

未詳

未詳

野紙綴

一

一七 江沼郡村々字名覚

未詳

未詳

野紙綴

一

一八 町内等級書上

未詳

明治14年10月

切紙

一

三丁

四丁

二三丁

七丁

書名	著者・発行者	年代	形態	冊数	丁数
一九 鉄道株入討議書	未詳	明治15年1月18日	切続紙	一	
二〇 一期勘定計算表	未詳	明治16年	一紙	一	
二一 入札払取扱心得書	未詳	未詳	長帳	一	二丁
二二 国庫假債券記名変更請求書雛型	↓日本銀行金沢代理店	明治37年	罫紙	一	
二三 初会老巴掛参拾人講々元一	西尾治郎作	明治40年1月	罫紙綴	一	二丁
二四 初会参巴掛六拾人講々元一	西尾治郎作	明治40年1月	罫紙綴	一	二丁
二五 老巴掛参拾人講々員一覽	西尾治郎作	明治40年1月	罫紙綴	一	二丁
二六 頼母子割返金算用書	未詳	未詳	切続紙	一	
二七 初金参巴掛講増員之折算書	未詳	未詳	罫紙綴	一	二丁
二八 初会参巴掛六拾人講新法	未詳	未詳	罫紙綴	一	二丁
二九 初会老巴掛参拾人講新法	未詳	未詳	罫紙綴	一	二丁
三〇 三十人講頼母子之覚	西尾	未詳	横帳	一	四二丁
二七・三 学問・教育					
二三 善悪貧富之話	未詳	天明4年2月	袋綴	一	六丁
二三 利運談 卷	景山先生著 江戸千鍾房	(文化13年)	中本(木版)	一	三二丁
二四 神国童子訓	万達	未詳	袋綴(木版)	一	一四丁
二五 内国里程問答	家原政紀著 京都 春風堂蔵	明治9年2月	中本(木版)	一	一四丁
二六 楽八何処二有哉	一急頓作	明治29年4月13日	こより綴	一	二丁

二七 驚くべき一億円 西尾治郎作 明治37年6月4日 野紙綴 一 二丁

二八 菅公一千年祭 素謡番組奉額書 未詳 明治35年5月21日 一枚(印刷) 一

二九 御大典奉祝余興 菅原伝授手習鑑番付 菅生町 昭和3年11月 一枚(印刷) 一

(礼法)

三〇 産所乃道具之品々伝書并副書 上原八左衛門、水嶋卜也、伊藤甚右衛門、遠藤七五三 享和2年 切紙・切続紙 二

・鶴見伝助↓鶴見六郎

三一 折形伝授副書 鶴見伝助高澄↓西尾次右衛門 文政2年 折紙(封入) 一

三二 小笠原流折形 吉田儀左衛門↓吉田屋与市郎 安政6年10月 切紙(封入) 九

三三 小笠原流折形 吉田儀左衛門↓西尾与市郎 安政6年11月 切紙(封入) 四

三四 小笠原伝授之書 小笠原大膳大夫長時 未詳 袋綴 一 一五丁

小笠原右近大夫貞慶

三五 膳部献立之卷伝書 水嶋卜也 伊藤甚右衛門 未詳 切紙 一五

遠藤七五三

三六 娶入道具飾伝書 水嶋卜也 伊藤甚右衛門 未詳 切続紙 一

遠藤七五三

三七 当流折敷硯伝書 水嶋卜也 伊藤甚右衛門 未詳 切続紙 一

遠藤七五三

三八 雑学集拔書 上・中 水嶋卜也 伊藤甚右衛門 未詳 続紙 二

遠藤七五三 平沢万兵衛

書名	著者・発行者	年代	形態	冊数	丁数
三九 水嶋流折形	未詳	未詳	切紙(封入)	六	
四〇 小笠原流折形	西尾与市郎	未詳	切紙(封入)	五	
四一 折形三水嶋流	未詳	未詳	切紙(封入)	一五	
四二 婚礼嫁土産の扇子等折形	未詳	未詳	切紙	三	
四三 扇子包等折形	未詳	未詳	切紙(封入)	四	
四四 真熨斗包等折形	未詳	未詳	切紙(封入)	五	
四五 胡椒包等折形	未詳	未詳	切紙(封入)	五	
四六 巾着包等折形	未詳	未詳	切紙(封入)	五	
四七 香の札さし等折形	未詳	未詳	切紙(封入)	五	
四八 さげ帯包等折形	未詳	未詳	切紙(封入)	五	
四九 香箸包等折形	未詳	未詳	切紙(封入)	五	
五〇 水嶋流折形	未詳	未詳	切紙(封入)	一四	
五一 水嶋流男向折形	未詳	未詳	切紙(封入)	四〇	
五二 水嶋流折形	未詳	未詳	切紙(封入)	一二	
五三 水嶋流折形	未詳	未詳	切紙(封入)	一二	
五四 水嶋流折形	未詳	未詳	切紙(封入)	一一	
五五 水嶋流折形	未詳	未詳	切紙(封入)	一四	
五六 水嶋流折形	未詳	未詳	切紙(封入)	一三	
五七 水嶋流折形	未詳	未詳	切紙(封入)	一〇	
五八 水嶋流折形	未詳	未詳	切紙(封入)	六	
五九 折形之事	未詳	未詳	折紙	一	

六〇	座右略法	未詳	未詳	一紙	一
六一	作法覺書	未詳	未詳	切紙	四
六二	瓶子伝書(前欠)	水嶋卜也之成 伊藤甚右衛門 幸氏 遠藤七五三幸宜	未詳	切続紙	一
六三	膳部木具寸法伝書	水嶋卜也 伊藤甚右衛門 遠藤七五三	未詳	切続紙	一
六四	書棚之伝	水嶋卜也 伊藤甚右衛門 遠藤七五三	未詳	切続紙	一
六五	蝶折形	未詳	未詳	切紙(封入)	五

(宗教)

六六	本願寺ノ聖人親鸞伝絵	上・未詳 下	未詳	袋綴	二
六七	夏之御文并御俗姓御文	未詳	未詳	袋綴	一
六八	勸衆偈経文	未詳	未詳	折紙(木版)	一
六九	心学人之道	未詳	未詳	袋綴	一
七〇	吉崎火難之御文	未詳	明治5年写	袋綴	一
七一	大谷派本願寺来歴	荒町西尾	明治16年2月写	野紙	一
七二	前田善太郎・大講義福田義導 師問答	未詳	明治27年6月写	野紙綴	二
七三	一休禪師 阿弥陀はだか物語	通俗仏教新聞記事写	明治37年	野紙綴	一
七四	三世因果目前之鏡	痴岳高岡保述	未詳	野紙綴	一

書名

著者・発行者

年代

形態

冊数 丁数

(太鼓・能)

七五	金春流太鼓手附	西尾	明治38年6月1日	袋綴	一	一五丁
七六	金春流太鼓手附	吉田屋与市良	辛卯8月9日	袋綴	一	一五丁
七七	金春流太鼓舞調法	未詳	未詳	横帳	一	二二丁
七八	太鼓舞調法	未詳	未詳	横帳	一	一六丁
七九	太鼓調法	西尾他次郎	未詳	一紙	一	
八〇	太鼓調法	西尾他次郎	未詳	一紙	二	
八一	樂之譜	未詳	未詳	一紙	一	
八二	能樂秘書	未詳	未詳	横帳	一	四二丁
八三	囃子大宝恵	西尾	明治39年6月	袋綴	一	一一丁
八四	謡目録	未詳	未詳	長帳	一	二二丁
八五	能樂入門之節覚書	未詳	乙未10月5日他	切紙・折紙 (封入)	六	
八六	序之舞	未詳	未詳	一紙	一	

二七・四 文芸

二〇 狂歌細画 めかけ百人一首

口閑斎茂雅等撰
春川五七書画

文政2年7月

中本(木版)

一 六三丁

二一 梧窓漫筆 上

太田錦城著 玉巖堂発兌

文政5年序

中本(木版)

一 六一丁

二二	詩語碎金	泉要編 石作貞校	天保5年	中本(木版)	一	六〇丁
二三	十八史略	京 菱屋孫兵衛他	天保10年再刻	中本(木版)	七	
二四	極樂伝来 心体安楽丸	大坂 小谷氏	(天保14年) 癸卯3月写	袋綴	一	五丁
二五	続幼学便覧	未詳	嘉永3年春	横本(木版)	一	六二丁
二六	年中古事要言 卷一・二	菟遊燕編	未詳	袋綴	三	
二七	唐詩選	南郭先生考訂 江戸嵩山房梓	未詳	小本(木版)	一	一六一丁
二八	詩礎国字解	大江玄圃口述	未詳	小本(木版)	一	七九丁
二九	江都土産	西尾	未詳	袋綴	一	五七丁
三〇	古歌之写	未詳	未詳	袋綴	一	九丁
三一	手習書	未詳	未詳	折帖	一	